

前田 けんいちろう

令和4年度一般会計予算4,884億円を可決 加曽利貝塚、学校施設の活用などを質問

千葉市議会令和4年第1回定例会が2月18日から3月17日まで行われました。今定例会は予算審議を柱としたものであり、年4回開かれる定例会の中で最長の日数を要しました。慎重審議を重ねて神谷市長から提出されました4,884億円の令和4年度一般会計予算案を可決しました。また、私は3月14日に一般質問をさせて頂き、若葉区内の諸問題について要望をさせて頂きました。質問は、①加曽利貝塚について②千城台地区の学校跡施設の利活用について③国道126号についてでした。



加曽利貝塚について

はじめに、加曽利貝塚についてお伺いします。先月、新博物館の基本計画の策定が完了し、市民に公表されました。新博物館のコンセプトをはじめ、事業活動計画、施設計画、展示計画等、具体的なプランを拝見し、地元議員として、大いに期待が膨らむところです。一方、その期待感と同時に、加曽利貝塚の魅力を向上させていくためには、博物館だけではなく、それを取り巻く環境、具体的には、加曽利貝塚に至るまでのアプローチ道路や、坂月川周辺の水辺等を含む周辺エリア全体を広い視点でとらえたうえで、の不便さや課題がしっかり改善されてこそ、市民に寄り添い、より多くの人々に愛され続ける博物館になるものと思います。そのような改善を望む地元住民等の声は、私の元に少なからず届いており、その具体例を上げます。

◇加曽利貝塚の設備面では、①現在の駐車場付近にはトイレがなく、博物館まで行かなければならず不便なこと。②駐車場に関しては、現在の入り口付近のものは台数が少なく、臨時駐車場は砂利敷きで、雨天の日などは使い勝手が悪いこと。

◇史跡周辺に関することでは、①最寄り駅である都市モノレール桜木駅から加曽利貝塚へのアクセスは、道路の道幅が狭い住宅街を通ることになり、歩道もなく分かりづらいこと。②坂月川沿いの通路は、未舗装の部分があり歩きづらいこと。

以上のように、千葉市民、とりわけ、博物館周辺の地元住民は、新博物館だけでなく、その周辺を含めた整備がどのように行われ「何がどう変わるのか」、果たして「自分たちの思いは実現するのか」と、期待をもって事業の推移に注目しているところです。

そこで、2点お伺いします。

- 1点目として、加曽利貝塚の設備面における不便さの改善について、
- 2点目として、史跡周辺の道路等における不便さの改善について、お伺いします。

答弁:教育次長

加曽利貝塚についてお答えします。加曽利貝塚の設備面における不便さの改善についてですが、まず、トイレにつきましては、令和4年度に現博物館脇に新設する予定の便益施設内に多機能トイレを設置するほか、今後行う中長期的な史跡整備において市民の皆様の意見を伺いながら、適切な場所への新たな設置を検討して参ります。また、整備の完了までは、イベント開催時等の混雑時に臨時駐車場内に仮設トイレを設置することで、対応を図って参ります。

次に、駐車場についてですが、現計画では、新博物館の敷地内に約160台分の設置を予定しております。なお、史跡側の臨時駐車場約70台分については、週末や祝日、イベント開催時等の来訪者の増加に対応できるよう、引き続き駐車場としての借用を継続するほか、駐車場の舗装や拡張も合わせて検討して参ります。

答弁:教育次長

次に、史跡周辺の道路等における不便さの改善についてですが、都市モノレール桜木駅から加曽利貝塚までのアクセスにつきましては、地元住民や来訪者の方の安全を確保しつつ、わかりやすい誘導を行えるよう、令和4年度に道路の安全対策や案内表示の設置などを検討する予備設計と測量に着手いたします。また、坂月川沿いの通路につきましては、豊かな自然に囲まれ散歩やジョギングなど市民の憩いの場として親しまれているとともに、新博物館から加曽利貝塚へ向かう期待感が高まるルートであることから、その効果が十分に発揮され、安全、安心な利用ができるよう、関係部局と連携し、自然と調和した歩きやすい通路等の整備を検討して参ります。

国道126号について

国道126号についてお伺いします。本路線は、千葉都心部と東金方面を結び、多くの車が往来しており、本市の道路ネットワークの骨格となる道路であるとともに、若葉区においても、地域間を連携する、市民生活に密着した重要な道路であります。若葉区内の、坂月町交差点、大草交差点、宮田交差点、この3つの交差点は、幹線道路である「都市計画道路の磯辺茂呂町線」、「県道の千葉川上八街線」、「浜野四街道長沼線」と交差し、地元のみならず市内外の多くの方々が利用している、重要な交差点となっております。

国道126号の交差点混雑の改善を継続して要望

しかしながら、坂月町交差点は混雑が見受けられること、また、大草交差点と宮田交差点は、変形交差点となっており走りづらいことから、これらを改善してほしいと地元からも強く望まれております。

そこで、坂月町交差点、大草交差点、宮田交差点の現状認識と対応について、お伺いします。

答弁:建設局長

国道126号についてお答えします。坂月町交差点、大草交差点、宮田交差点の現状認識と対応についてですが、まず、「坂月町交差点」は、右折車両の滞留による直進阻害や、左折車両の速度低下などが原因で混雑しており、対策が必要と認識しております。このことから、現在、道路の幅員や交差点形状などを検討するための設計や千葉県公安委員会との協議を行っており、協議が整い次第、地元の皆様に説明会を行う予定としております。

また、「大草交差点」と「宮田交差点」は国道に対して県道や市道が変則的に交差する「くい違い交差点」となっていることに加え、「宮田交差点」は川井町方面から県道が急勾配かつ鋭角に交差する形状となっております。このため、両交差点ともに、車両が通過しづらい状況となっており、対策が必要と認識していることから、今後、交差点形状や構造などの概略を把握するための設計を行うなど、対策方針を検討することとしております。

いずれの交差点についても、交通の円滑化を図るため、引き続き調査を進め、早期の事業化を目指して参ります。

前田健一郎からの意見と要望

加曽利貝塚についてです。答弁の趣旨は、概ね理解いたしましたので、今後計画的な取り組みをお願いいたします。一方、加曽利貝塚をご利用いただいている方々が、現在の博物館や史跡利用の中で感じていること、また、新たな博物館に期待することは、今回質問したこと以外にも数多くあると思います。

例えば、食堂やミュージアムショップ等の今はない機能のこと、自分が訪れたことのある博物館や史跡見学や利用ではここが良かった、良くなかったなど、その思いやニーズは様々で、利用者の視点からだからこそ見える貴重なご意見があるでしょう。そこで、当局が、今後事業の中でのワークショップ等においては、是非、基本計画でされる「みんなで作る・育てる博物館」が実現されるよう、周辺エリアの利用を含めた視点から、より多くの立場の方々からの忌憚のない意見聴取を継続的に行っていただきたいと思っております。

また、事業を進められる過程では「何が、どのように良くなるのか」の分かり易い情報発信をしっかりと行い、加曽利貝塚が生まれ変わるワクワク感や期待感、また、新博物館のリニューアルオープンに向けた盛り上がりの醸成に繋げていただけるようお願いいたします。「市民に寄り添う改善」、「最新の博物館にしい機能や事業の充実」、これらが両輪で廻ってこそ、長く市民に愛され、真に本市の誇りになり得ると思っておりますので、あらためて、なお一層の取組みを要望いたします。

国道126号についてです。坂月町交差点、大草交差点、宮田交差点、いずれの交差点も事業化に向け検討することについて理解いたしました。重ねてとなりますが、国道126号は若葉区にとって重要な路線であるとともに、地元のみならず多くの市内外からの利用者もいるなど、市域においても重要な路線となっております。

また、現在、建設が進められている新清掃工場が稼働した際には、このアプローチ道路として利用されるなど、さらに重要度が増してきます。昨年の第2回定例会の一般質問では、若葉区内の幹線道路の現状と今後の整備方針をお伺いした際に「道路ネットワークの整備」と「道路施設のリノベーション」を2つの柱として積極的に整備を推進していくと、ご答弁をいただいたところです。この積極的に行われるリノベーションの一つである、交差点改良となりますので、ぜひとも、しっかり取り組んでいただき、早期に改善していただくよう強く要望いたします。

施設の利活用は千城台地区を再び活性溢れる街とするため重要 広く若葉区民の理解を得られるよう、より丁寧な説明を要望

千城台地区の学校跡施設の利活用について

次に、千城台地区の学校跡施設の利活用についてです。
かつて、千城台地区は、多くの方が移り住んできて、新しい住宅がどんどん建てられ、子どもからお年寄りまで活気に満ち溢れ、商店街なども賑やかな街でありました。それが、現在では、人口減少が進むだけでなく、本市の中でも高齢化率が高い地域となってしまいました。また、子どもの数が減ったことにより、同じ子育て世代の親同士の付き合いも昔に比べて、少なくなり、さらに、一人暮らしのお年寄りが増えてきて、近所付き合いが減るなど、人と人とのつながりが希薄化して、地域における支え合いの機能が弱まることも懸念されます。

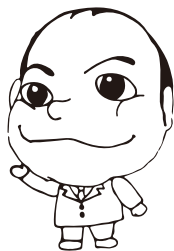
私としては、何とかこの状況を改善するために、千城台地区の魅力を高め、再び活気を取り戻すような取り組みが行われることを期待して止みません。そうした観点からも、廃校となった2つの小学校の跡施設の利活用は重要であります。

市が示した活用素案では、旧千城台西小学校の跡地には、木造で老朽化した千城台西保育所を移転させ、新たな子育て支援の拠点とし、余剰地は売却することです。これは、千城台地区の公共施設再整備の財源確保を図るとともに、新たな戸建て住宅などが建つことで新住民を呼び込むことをねらったものであります。

また、旧千城台南小学校の跡地には、千城台公民館、若葉図書館、保育所、高齢者施設である和陽園を移転させ、再配置するというものであり、街の新たなコミュニティづくりの中心となるのではないかと注目しているところであります。

既に、地元検討委員会からは、市の活用素案に対して、概ね了承する旨の回答と、合わせて整備に向けて意見要望書が令和2年12月に提出されています。今年度は、敷地内の具体的な施設配置を定めるため、ランドデザインの策定と意見要望に対する回答を行う予定であったと認識しています。

そこで、最終的な市の方針決定内容について、3点お伺いします。
1点目として、千城台南小学校跡地のランドデザインについて、
2点目として、千城台公民館・若葉図書館現在地の移転後の利活用について、
3点目として、今後の整備のスケジュールについて、
お伺いします。



答弁: 財政局長

千城台地区の学校跡施設の利活用についてお答えします。

はじめに、千城台南小学校跡地のランドデザインについてですが、千城台東第一保育所は、移転後、民間事業者の公募を予定していることから、駅に近い敷地北側の平面敷地に配置することとし、建設の課題が多い敷地中央部の斜面地には、公共施設である公民館・図書館を複合施設として建設することとしました。高齢者施設である和陽園は、救急車両の出入りが想定されることから、住宅地から離れた敷地南側に配置するデザインとなっております。

また、千城台公園及び千城台南中学校との連続性を確保するため、南北に緑道を設置することで、各施設が緑道を介して繋がり、多くの人が集えるような空間となっております。駐車場は、各施設からのアクセスを踏まえ、西側に170台程度配置する計画となっております。

答弁: 財政局長

次に、千城台公民館・若葉図書館現在地の移転後の利活用についてですが、隣接する千城台コミュニティセンター及び若葉文化ホールの将来的な建替え用地として残すこととし、それまでの間は、現在不足している駐車場を拡充するとともに、人々が集えるような空間として活用していく計画となっております。

答弁: 財政局長

最後に、今後の整備のスケジュールについてですが、旧千城台南小学校、旧千城台西小学校の校舎等を令和4年度から5年度にかけて解体工事を行った後、各施設の設計等に着手して参ります。
以上でございます。



令和4年4月現在の千城台南小跡地

前田健一郎からの意見と要望

千城台地区の学校跡施設の利活用についてです。
ご答弁いただいた内容につきましては、概ね理解いたしました。千城台公民館・若葉図書館現在地においては、売却せずに、将来の千城台コミュニティセンター及び若葉文化ホールの建て替え用地として、駐車場とすることで、隣接する千城台コミュニティセンター等の駐車場の混雑を解消できるものと期待しております。
また、千城台南小学校跡地のランドデザインにおいては、各施設が緑道や広場を介して繋がっており、多くの人が集えるような空間となっており、駐車場の170台程度確保できており、施設利用者だけでなく、千城台公園の利用者駐車場の確保や近隣の路上駐車対策になることも期待できるものであり、大いに評価いたします。
千城台公民館、若葉図書館は千城台南小学校跡地において、唯一の公共施設であり、施設利用者や地域への影響が大きいことから、施設整備にあたっては、利用者等を対象としたアンケートやワークショップを実施し、市民意見の聴取に努めるとともに丁寧に地元説明しながら進めてもらいたいと思います。特に、図書館については、地元からの意見要望書にもあったように、現在地での建て替えを望む意見も多かったことから、千城台南小学校跡地に移転することについては、地域住民だけでなく、広く若葉区民の理解を得られるよう、より丁寧な説明を行っていただきたいと思っております。
今回の学校跡施設の利活用は、千城台地区を再び活性溢れる街とするため、重要な取り組みでありますので、当局の皆さんには、可能な限りスケジュールどおり整備が進むようご尽力いただきたいと思います。

活動報告

若葉区のマエケンこと前田健一郎です！
最近の私の一日は、朝のラジオ体操と北貝塚交差点のセイフティウォッチャーからはじまります！この朝の活動で、老若男女のパワーを頂き、元気100倍で若葉区の課題に取り組んでいます。皆様との心のふれあいでご意見を直接伺えることは、私の活動の源になっています。



千城台公園の階段が欠けていると連絡が入り、若葉土木事務所に連絡したところ、数時間で作業していただきました。住民のみなさんがとても喜んでいました。若葉土木事務所さん、ありがとうございました！



小倉台公園に以前からお願いしていた通路に手すりが付きました。坂道が怖くて遠回りしていたが、安心して通ることができると皆さんに喜んでいただいています！公園管理課さん、ありがとうございました！



別途お願いしていた小倉台公園の看板が設置されました。若葉土木事務所の皆さん、いつも迅速な対応ありがとうございます！住民の皆さんがとても喜んでいました！



桜木小周辺の道路の白線等が薄くなっており、気になっていましたが、塗装補修が始まりました。近隣住民の方からも子どもたちの安全第一でお願いされていました。若葉土木事務所の迅速な対応に感謝いたします。

